

報告書抄録

ふりがな	かなかいいせき							
書名	金貝遺跡							
シリーズ名	八日市新川広域河川改修工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	中村智孝							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月	平成23年(2011年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
かなかいいせき 金貝遺跡	ひがしおうみし 東近江市 のむらちよう 野村町	25205	205-108	136度13分09秒	35度06分20秒	15,205㎡	20070626 ? 20090520	八日市新川広域河川改修工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
金貝遺跡	集落 集落	縄文時代 奈良時代 平安時代 室町時代		竪穴住居・掘立柱建物・水路 掘立柱建物・水路 土坑	縄文土器・石器 土師器・須恵器・鉄製品・鍛冶滓・鍛造剥片 土師器・須恵器・黒色土器・灰釉陶器・無釉陶器・緑釉陶器 国産陶器			
要約	<p>金貝遺跡は、近年の発掘調査によって遺跡の内容が明らかになりつつある遺跡である。平成20年に行われたほ場整備に伴う発掘調査では、最古級の三間社流造神社遺構と考えられる遺構が確認されている。調査では、奈良時代～平安時代を中心とする時期の遺構や遺物を確認した。なかでも、開発に際して開削された灌漑用水路や、大型の掘立柱建物を含む建物群を確認した奈良時代の成果は、古代における地域開発の様相を示すものと考えられる。また、平安時代では、掘立柱建物群が前半と後半にみられたほか、条里地割に沿った位置に水路や溝が確認でき、平安時代でも後半には条里地割が周辺に施工される状況がうかがえた。</p>							